

わかば

東京都立三田高等学校同窓会
 社団法人 ワカバ会

東京都港区三田一四一四六
 電話〇三―四五一―〇二二七
 振替 東京八八一一七〇

ワカバ会の歴史

会 長 若 菜 允 子



ワカバ会は、昭和六十三年四月に創立六十周年を迎えます。そこで昨年五月、六十周年記念事業委員会および同記念誌編集委員会を設置し、各委員会の委員の皆さまを中心に記念事業の実施ならびに記念誌の発行について着々と準備を進めていただいております。

振り返ってみますと、初代校長

として同窓会設立の中心になられた故丸山文作先生は、同窓会をして単に会員相互の親睦の場とするだけでなく、会員の社会奉仕の場とすることを目ざされ、昭和六年

そのための施設として同窓会館を建設されました。同窓会館内には、会員が親睦をはかるための談話室・図書室が設けられたほか母校在校生のための課外授業や会員及び一般の人々を対象にした長期講習会の場が設けられました。この長期講習会は、大変な盛況で、昭和十七年にはワカバ学園の名称で各種学校の認可を得たほどでした。

このほか、ワカバ会は、農園を

母校在校生のための教育実習の場として提供したり、さらに保育園を設立して地域社会に貢献してきました。このようにしてワカバ会は会員のための親睦団体にとどまらず、同窓会館を基盤にして、各分野にわたる幅広い事業を展開してきたのです。

昭和四十九年校舎改築の際、同窓会館はとりこわされましたが、ワカバ会の活動を通して積み重ねられたたくましい自立の精神とパイオニア精神は、私たち会員の心の中に生き続いていると思います。

創立六十周年を機会に、ワカバ会がこの伝統の上に立って新しい時代に向けてさらに大きく飛躍してゆくことを念願しています。会員の皆さまのご協力を心からお願ひ申し上げます。

学校の近況

名誉会長 藤川 侃二



ワカバ会会員の皆様にはますますご健勝でおすごしのことと心からおよろこび申し上げます。

学校の一年間を振り返ってみますと、時代を反映して国際化が一段とすすみ、外国から多くのお客様を迎えて交流が盛んに行われました。多数の生徒達を海外へ留学生として送り出す一方、アメリカから高校生を受け入れ、諸活動を通じて相互理解に努めてまいりました。特に昨年は、ニューヨーク市教育視察団の来校をはじめとして、ヨーロッパ青年指導者研修団、東南アジア青年代表団、アメリカ、イギリス、メキシコ、フランス等各国教育視察団が多数来校され、その数は二〇〇名にも及んでおります。

皆様ご存知の通り、本校は都立高校の中では急速く「国際理解の

教育」にとり組むとともに、昭和五十二年から都立高校の中で初めて海外帰国生徒学級が設置されて今日に至っております。この間、これらの生徒の教育を軸として国際理解教育をすすめ、関連する行事を拡充し、国際的、地球的視野をもった生徒の育成に努めてまいりました。

国際交流が盛んに行われている折、昨年九月に本校卒業生で国際的にも有名なシャノン歌手、石井好子さんを囲む会が軽井沢山荘で開かれ、私も招待をいただき楽しいひとときを過してまいりました。戦後、国際交流が余り行われていない時期に、本校卒業生の石井好子さん、ソプラノ歌手砂原美智子さんがヨーロッパの檜舞台で活躍され、名声を博しておられたお話をお聞きいたし、改めて敬意と深い感動を覚えたものでした。

このように、先輩の国際的飛躍にならない、二十一世紀の国際社会で力強く羽ばたくことができる三田高生の育成に全力をあげてとり組んでまいりたいと存じます。ワカバ会皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

第50回同窓会総会ご案内

日時 昭和62年4月29日(祝)

午後1時～4時

会場 母校音楽講堂

議題 昭和61年度事業報告・決算報告

昭和62年度事業計画・予算案審議

会費 1,000円

☆議事終了後は、先生方、新旧同窓生ともども卓を囲んで親睦のひとときをお楽しみ下さい。クラス会等のご希望があれば、前もってお申し出下さい。

☆昨年好評のビンゴ大会を今年も行います。軽井沢山荘宿泊券ほか他数の賞品を用意します。さらに賞品の寄贈大歓迎!事務局までご一報下さい。

☆新会員の方へ

ご卒業おめでとうございます。ワカバ会総会に是非お出かけ下さい。会費は不用、同窓会から新入会員名簿をさし上げます。

☆上記のように本年度ワカバ会総会を開催いたします。ワカバ会発展のため一人でも多くの方がお出かけ下さいますよう、お願いいたします。

理事会等報告

4月理事会(11日)出席者11名

○予算・決算・総会について

評議員会(19日)〔出席者42名
委任状含む〕

総会(29日)出席者255名

○総会・親睦会食・ビンゴ

5月理事会(16日)出席者10名

○総会報告・会計報告・記念事

業及び記念誌委員会報告・

山荘運営について

6月理事会(27日)出席者12名

○自然と親しむ会報告・会計報

告・記念事業及び記念誌委員

会報告・山荘開荘準備完了報

告

9月理事会(26日)出席者9名

○記念事業立案・日程・イベン

ト・予算等・会報について・

山荘・駐車場について報告・

会計報告

10月理事会(31日)出席者10名

○事業委員会報告・運営委員会

報告・軽井沢山荘閉荘及び反

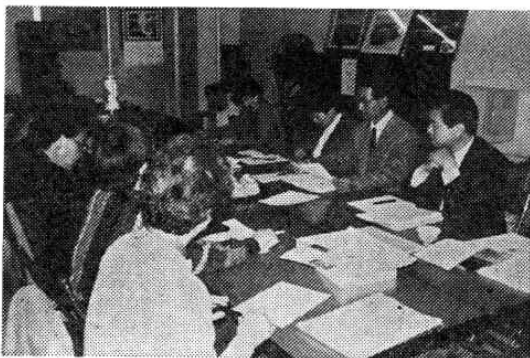
省会について・駐車場につい

て・広報委員会「わかば」の

体裁について

12月理事会(12日)出席者12名

○事業委員会・記念日当日の予



理事会風景

定について・ピアノ修理の件
広報委員会・会報記事につ
て・会計報告

2月理事会(20日)出席者12名

○事業委員会報告、企画委員会

・62年度企画について

会計報告・62年度山荘運営に

ついて・会報について・記念

誌の配布について

3月理事会(27日)予定

63年度予算・62年度決算につ

いて

総会親睦

ビンゴ大会



本日の呼物、「ビンゴ大会」

事前に予行はやったものの二百人を越す参加者。果たして?という主催者側の一抹の不安の中に司会者が数字を読みあげる声。手元の番号が当たった人が各所であげる喚声。何回目から当選者が出るかと会場の興奮は高まって行く。

ついに最初の当選者、今年卒業生を送りだされた国語科の小山恭敬先生。皆の拍手に包まれてくじ引き、そして賞品を受け取りに。その後はぞくぞくと当選者。ずらっと並んだ賞品の山がどんどんなくなっていく。もうだめかと思われた頃目玉のワープロ当選者がでる。また一段と高い喚声。賞品総数約百。放送部出身者の苦心で司会者の声もどよめきにかき消されることなく、二百人が年代を越えて、一つのゲームに皆で熱中した楽しい一時であった。

委員会報告

総務委員会

昭和六十三年のワカバ会創立六十周年にむけて、本委員会の下に「六十周年記念事業委員会」と「六十周年記念誌委員会」を設置した。両委員会の代表に第六一回卒の高橋登志先生をお願いした。それぞれの委員会の委員長には、「記念事業委員会」は、総務委員会の小野紘一（高八一三）が、また「記念誌委員会」は文藝春秋におつとめの藤井康栄さん（高五一三）が選出され、現在盛んに活動をしている。

※両委員会の詳細については、本号の六・七頁を参照。

委員 高橋 登志（1E）

小野 紘一（8—3）

御子柴 大介（26—4）

企画委員会

企画委員会のメンバーは、年令、経歴、職業等全く異なるヴァラエティに富んだ顔ぶれですが、母校とワカバ会を愛する心で固く結ばれて居り、本会を従来にも増

して同窓生の皆様のお役に立ち、親しんで頂ける存在にしたいものと心を砕いて居ります。昨年度は五回の委員会を開き、その結果「自然と親しむ会」として、六月十日から十二日にわたり、水芭蕉の尾瀬を訪ねる企画を実行いたしました。幸い天候にも恵まれ、参加の皆様にも大変喜んで頂くことが出来ました。

本年度は別掲の通り

(一)「自然と親しむ会」

七月二十二日～二十四日

ニコウキスゲの尾瀬を訪ねる旅（昨年参加の方から異なった花の季節の尾瀬行の御希望

がありましたので）

(二)「史跡探訪の会」

九月二十六日～二十八日

琵琶湖畔の十一面観音参詣の旅を企画して居ります。

尚、昨年三月、来る六十三年のワカバ会六十周年記念事業委員会の発足以来、企画委員は全員同委員会に参加し、数回の委員会を重ねて記念事業について検討して居ります。

記念事業について、又色々の企画について御希望や御意見をお持ちの方は、是非企画委員会まで御連絡下さい。

委員 佐々木 昭（57）

滝本阿弥子（13イ）

中村左都子（7—2）

平山 孔嗣（29—2）

事業運営委員会

この委員会では、軽井沢山荘および鶴の木の駐車場（旧農園跡地現多摩川グランド隣）の運営にあたって居ります。

駐車場は二十七台の車が入っており、地境の大銀杏の枝おろしなど整備しました。

また、昨シーズンの山荘利用状況は七月一日から九月二十二日まで開荘し延べ一四五五名の利用者がありました。八月の最盛期は満

杯でお断りした方も多かったと思いますが、七月九月は余裕があります。なるべくこの時期に計画を立てて、クラス会グループの集り等会員の利用をお待ちしていただきます。今夏の利用案内、催しについては五頁に記しましたので、おさそい合せの上ご参加下さい。新しい催しのご希望、アイデアがございましたら、委員会までお申し出下さい。

委員 山口謙一郎（8—1）

中垣 俊二（8—2）

杉本貴久子（16オ）

広報委員会

広報委員会の主たる業務は、毎年三月中旬に会報「わかば」を発行することですが、ワカバ会六十周年に当って設置された、記念誌委員会にも属しお手伝いを致しております。

ご承知のように会報「わかば」は全会員に送られるもので、同窓会の活動、母校の近況、会員の消息を伝え、また事務局を中心に会員の交流をはかる唯一最大の機関です。今のところ年一回の発行ですが、将来的には年二回をめざし皆様のお役に立てるよう希望しています。どうぞ会員諸氏の活動状況、同期会、クラス会の呼びか

け、報告、或は積極的なご意見ご感想、何でも結構ですのでお寄せ下さい。

今年度から紙面の体裁を一新しましたので今までの会報とは趣を異にしたと思います。次号は30号六十周年に向けての発行になります。編集・取材・写真・カット等ご協力頂ける方がありましたらどうぞお申し出下さい。

委員 市川 英子（18エ）

戸田 雅子（19—1）

御子柴大介（26—4）

会計委員会

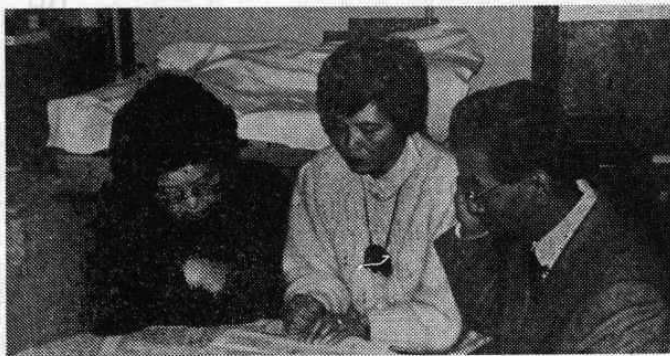
会計委員会はワカバ会の運営が順調に行われる様資金面を管理するのが主な業務であり、現在四名で担当して居ります。維持会費の納入につきましては会員の皆様に大変な御理解と御協力を賜わりお蔭様で前年度を含め、累計で約二千名の方々から御送金頂きましたワカバ会の活動がより多方面に亘り、会員の皆様に一層御満足頂ける為の大切な基盤で御座います。何卒今後共宜しく御協力賜ります様お願い申し上げます。

委員 玉置 修次（5—4）

松永佐智子（12エ）

竹内 和世（5—4）

平山 孔嗣（29—2）



石井好子さんを囲んで



昨年九月五日山荘において、ワカバ会運営委員会の企画による「石井好子さんを囲む会」が開かれました。石井さんは第六高女十三回の卒業生で、日本を代表するシャンソン歌手として国の内外で活躍中です。又エッセイストとしても、『東京の空の下オムレツのにおいは流るる』でエッセイスト賞を受けられるなど皆様もよくご存知の通りです。たいへんお忙しい石井さんがワカバ会のために快よく講演会をお引受け下さって本当に有難いことでした。

出席者は三田高校の藤川侃二校長・小倉政男事務長をお迎えし合計31名、第六の七回生から高校二十五回と年令を越えての集りでした。

石井さんはご卒業はどこですかと聞かれると此頃は「三田高校です」と答え、三田高校出身であることに非常に誇りを持っておられるそうです。在学時は丸山丈作先生の非常にユニークな教育で姿勢の良さを仕込まれ、又、賢くなるう、人間は賢くなければいけない、私達は賢くないから不幸を持っているのだと教えられたそうです。自分で切り抜けることが出来る苦しさの前にダウンしてしまいうる事は賢さが足りないからです。人生の困難にぶつかるといつも丸山先生のこの教えを思い出していると話され、日本のシャンソン歌手の草分けとして歩んでいらした人生をエピソード豊かに、ユーモアを含んで話して下さいました。予定の時間を過ぎて山荘の食堂は笑いとお気遣いの交流で夜更けまで賑い、有意義な会でした。石井さんに心より感謝申し上げます。

(竹内記)



「野鳥と野草の会」

に参加して

まだ明けやらぬ窓の外、賑やかな鳥の声で眼が覚めます。これが軽井沢の朝です。アカハラやホトトギスの声が聞えます。

今年の「野鳥と野草の会」は、あいにく夜来の雨が去りやらず、時々バラつく中を歩き始めると、道につき出た枝にオオルリがとまって良い声で鳴き、道の傍には軽井沢特有の黄色オダマキ草の一叢が咲いています。レマン湖へ下るバスの前を子連れのコジュケイが横切つて草の中へかけ込む。毎年、信濃遊歩道を一軒ほど徒歩で下り白糸の滝に行きます。水の中に忙しく餌を求める川鵜の姿。あがり余る自然の中のほんの一コマながら自然のいとなみを通して、生きること、命のいとおしさを感じる二日間でした。(齋藤 記)



第二回 自然と親しむ会

本年はニコウキスゲの尾瀬を訪ねる二泊三日・講師は昨年と同じ笠原最季雄先生をお願いしました。今回はバスで沼山峠下まで直行しますので、昨年より一層楽しい旅になりそうです。ふるってご参加下さい。

。期日 7月22日(水)～24日(金)

。定員 二十名(申込先着順、定員になり次第締切り)

。参加費 約二万円(バス代、宿泊費、交通傷害保険その他)

。申込み 4月28日(火)までにワカバ会事務局に電話で。

。行程 第一日、沼山峠下より徒歩約3km長蔵小屋泊。

第二日、徒歩約14km、第二長蔵小屋泊。

第三日、徒歩約9km、鳩待峠よりバス。上野帰着は17時40分頃。

。要項は参加者全員に配布いたします。

第一回 史跡探訪の会

琵琶湖一周十一面観音巡り、秋の近江路の旅を企画しました。講師は笠原最季雄先生。関西方面にお住まいの方も是非ご参加下さい。

。期日 9月26日(土)～28日(月)

。定員 二十五名(申込先着順、定員になり次第締切り)

。参加費 約三万三千元(バス代、宿泊費、交通傷害保険その他)

他)東京―京都間の往復運賃は自弁

。申込み 5月29日(金)までにワカバ会事務局に電話で。

。京都より全行程バスを使用しますが、一部徒歩の部分もあります。願成就寺、聖衆来迎寺、石道寺、渡岸寺等約十五の寺院参詣。解散は京都駅28日19時頃。

(企画委員会企画)

今年の夏も涼しい山荘へ!

ことしの夏休みの楽しい計画の中に山荘利用をお加え下さい。
ご家族お揃いで、クラス会、同期会の集いにお気軽にご利用下さい。又山荘での各種催しにも、どうぞ多数のご参加をお待ちしております。

◆開荘期間

七月十一日(土)～九月三十日(水)

◆利用料金(一泊二食付)

大人……五〇〇〇円 小人……四〇〇〇円
幼児……二五〇〇円

・七月二十六日(日)より八月二十五日(火)まで
特別料金期間となり大人は五七〇〇円

◆貸切料金

・特別料金期間は二十五名以上又は十四万円以上

・他の期間は二十名以上又は十万円以上
(原則として土・日は不可)

◆利用時間

チエックイン………午後三時
チエックアウト………午前十時
門限………午後十一時

◆申し込み受付

五月一日(金)より。午前十時三十分～午後四時、土・日・祭日は休み。十名以上の申し込みは常時受付。

緑まぶしい原生林、噴煙たなびく浅間山。歴史が薫る旧中仙道。そしてノスタルジックな「旧軽」……さわやかな自然の中での散策、バードウォッチング、ドライブ、サイクリング、テニス、ゴルフ等々山荘を利用して軽井沢を満喫して下さい。

第五回 野鳥と野草の会

今年の山荘は「野鳥と野草の会」で開幕です。
梅雨明けの清々しい緑の中へ、お出かけになつてみませんか。東京よりマイクロバスでご案内致します。個人で、グループで、多数ご参加下さい。

記

- ・日時 7月11日(土)～12日(日) 一泊二日
- ・場所 ワカバ会軽井沢山荘の周辺
- ・定員 二十五名
- ・参加費 一万六千円(宿泊費、交通費テキスト代、昼食二回分他一切)
- ・申込 5月1日(金)～6月15日(月)までにワカバ会事務局へ申込して下さい。申込金(宿泊費)五千円をワカバ会にご入金下さい。
- ・参考 現地集合の場合は、申込金その他鉄道運賃八千八百円(往復)、駅から山荘までの車代二千円、テキスト代その他の実費を要します。

加藤恭二子先生を囲むつどい

ワカバ会軽井沢山荘を会員の親睦をはかる場として活用したい、との意図により昨年9月の石井好子さんの会に続き、今年は昭和37年から53年迄三田高校の音楽の先生として指導にあたられ、生徒の人望を集め、現在も音楽家として活躍の加藤恭二子先生にお話しし初秋の夜、先生を囲む会を計画しました。お誘い合せのうえご参加下さい。

- ・日時 9月5日(土) 午後6時より
- ・場所 ワカバ会軽井沢山荘

第三回 ワカバ会

親睦ゴルフコンペ

恒例のワカバ会ゴルフコンペには是非一度参加なさつて楽しさを味わって下さい。きつに常連となられる事受け合います。腕に自信の有無にかかわらず奮つてご参加を歓迎いたします。

- ・日時 7月25日(土)
- ・場所 軽井沢72ゴルフ・東コース
- ・集合 午前9時10分までに東コースクラブハウスフロント前
- ・スタート 午前9時30分(雨天決行)
- ・プレー方式 ワンラウンドキャロウェイ方式
- ・定員 6組24名(定員になり次第締切り)
- ・参加費 3万4千円(プレー費・賞品代・山荘宿泊費を含む)
- ・申し込み受付 5月1日(金)より、6月18日(木)までにワカバ会事務局にお申込み下さい。なお申し込み受付と同時に申し込み金5千円をワカバ会にお支払い下さい。



「六十周年記念事業委員会」小野委員長に聞く

今回お話をうかがう委員長の小野紘一さんは、高校八回の卒業生で、現在は三田高校の近くで弁護士として法律事務所を開いておられます。ワカバ会には昭和五十九年に「ワカバ会費に関する検討委員会」の委員長として参加していただき、現在は理事として、とかく女性のイメージの強いワカバ会に、男子ここにありの意気込みで活動して下さっています。

—— 昨年の四月から何回か事業委員会が開か

れているわけですが、日程などは決まったのでしょうか。

小野…一応、来年の五月のある日曜日に総会を含めて行いたいと思っています。前の四十五周年の時、戦前

の会員の方が中心となってホテルで盛大に開かれたと聞いておりますが、今回は、高校五回以降の人間達を中心に母校を会場として行いたいと思います。母校を会場にすることによって、現在の三田高との接点を感じていただきたいし、若い会員の方も参加しやすいのではないかと思います。

—— なる程、それでは具体的な催し物としてはどのようなものが計画されているのでしょうか。

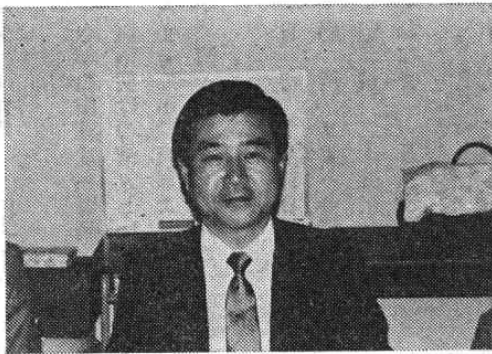
小野…委員会の中で最初のうちはお祭り広場や、昨年の総会で好評だったビンゴゲームの拡大、また食事に関しても今までの立食形式ではなく模擬店形式で行うなどお祭りの要素の強い誰かが楽しんで参加出来る計画が出されています。それから現在たくさんのクラブのOB会が作られています。が、それらのOB会に協力していただいてスポーツなどの模範演技やバンド演奏なども含めた音楽会の開催も予定しています。

また先日ある会員の方からの投書がありまして、ワカバ会の会員の中でも各分野で活躍をされている方が多数いらっしゃるの、何人かを招いて公開シンポジウムを開いたらという提案がありました。これまでの計画ではどちらかというとお祭りの要素の濃いもの

が多かったもので、公開シンポジウムの提案は新たな方向の計画として前向きに取り組んでいきたいと思っています。とくに内容によって、三田高、つまり在校生の方々にも広く参加を呼びかけまして、授業の一環としてお役に立てばと思っています。

—— 先程の会場に関しても、この公開シンポジウムにつきましても三田高との接点を強調されていますが。

小野…やはりワカバ会の会員は、第六なり三田高の卒業生なのです。から、ワカバ会と三田高とは表裏一体というか絶対に切り離してはいけない関係だと思わなければいけません。



したがって今回の六十周年記念事業では、そのことを念頭に置いて計画を立てていかなければと思っています。また今までは、クラス会や同期会などヨコのつながりを中心にワカバ会の運営は進められてきたわけですが、今度の記念事業におきましては各クラブのOB会の協力をあおぐわけです。そこをひとつの出発点としてタテのつながりをも含めた新たな組織作りが出来たらと思っています。

—— それでは最後に、会員の方に何かお願いがありましたら。

小野…先程の公開シンポジウムの件もそうですが、一握りの委員では企画にも限界があります。そこで会員の方々の多角的な方向をもった企画をワカバ会の方に連絡をお願いいたします。また、三田高の建物のある程度のスペースを開放していただく方向で話しをすすめていきたいと思っていますので、数多くの会員の方に是非とも参加していただきたいと思っています。とかくワカバ会というとかく閉鎖的なイメージがあるようですが、この六十周年記念をひとつの機会として、そのイメージを払拭していきたいと思っています。

—— 本日はお忙しいところを本当に有難うございました。

HELP!

○ 事業委員会委員長の小野さんのお話にもあったように、記念事業の企画を募集しています。数多くの人が楽しめる企画をどしどし応募下さい。

○ 記念事業のひとつに音楽会があります。その参加者を募集しています。どんなジャンルでも結構です。

○ 体育館やグラウンドを使用してのスポーツなどの模範演技も企画しています。われこそはと思うOB会には是非ともご連絡下さい。

○ 昨年の総会で大好評のビンゴ大会を記念事業では規模を大幅に拡大して行う予定です。事業委員会でも、その賞品を多数用意致しますが、会員の方からも賞品の寄付をお願いしたいと思います。

○ 会員の方が楽しく参加できるようにお祭り広場を運営するために助っ人を募集しています。皆さんを楽しみ雰囲気にする自信のある方は是非とも助っ人になって下さい。自薦他薦を問いません。

60周年に —各—

特集

今回のインタビュに登場していただく藤井康栄さんは、高校五回の卒業生で、現在は文藝春秋で編集関係のお仕事をされています。また藤井さんのお父様の大木惇夫氏は現在の三田高校の校歌の作詞者で、藤井さんにとって三田高校は良きにつけ悪しきにつけ太いきずなでもって結ばれているといえましょう。

——まず今回の記念誌のテーマからおうかがいしたいと思います。
藤井…もとも私は卒業以来、たった一度しか母校を訪ねたことのない典型的な不良会員というか休眠会員だったわけです。それが昨年の春、突然高橋登志先生からこの委員会のお話があり、その中で

「六十周年記念誌委員会」 藤井委員長に聞く

先生は第一回生で昭和三年の卒業だからワカバ会も昭和六十三年に六十周年になるとおっしゃり、ワカバ会の歴史は昭和史そのものなのかと思いました。そして十年程前に神田の古書展でうずたかく積まれた雑本の中から『報国』（第六の戦時下の校友誌）を見つけて買っておいいたことを思い出したのです。その時、私が記念誌を作るなら、テーマは昭和史だと漠然たる着想を持ちました。最初は時間的な条件でお引き受け出来ないと思っていましたが、結局は無言で言わず呑み込まれてしまいました。そこで、具体的に何をするかと考えた時、資料といえば僅かな会誌があるだけです。あとは同窓会に集う一万七千人の会員だけが財産です。この条件で私達の昭和史をどう表現するかと考えれば、会員各位が自分達の時代をどう証言するかということしかないかもしれないと思います。そこでまず、資料座談会を企画しました。最初の座談会は昨年六月に草創期の方々を招いて行いました。結果は若い人にも大変好評であり、自分としても編集委員会の一定の方づけが出来たと思えました。

——すると内容的には座談会が大きな柱となるのですね。
藤井…ええ。最初の座談会のあと二回目の座談会は戦時中に学んだ会員の方々に集まっていたべきでした。これからもポイントとなる時期をいくつか設定して、同じ方法で柱を立てていきたいと思えます。この方法は、参加した方々の力量によって内容の質が決まってくるわけですから、じつは基礎仕事の終了した編集者としては、肩の荷が軽くなったと思っています。

——ところで、柱となる座談会のほかにはどのような内容を企画されていますか。
藤井…当然座談会のほかにもインタビューやコラム、またアンケートなどの資料分析を企画しています。先程、同窓会の大きな財産は会員だと言いましたが、やはり具体的な資料も必要です。しかし、現在までその具体的な資料はほとんどありません。そこで、この場をお借りしまして資料の提供をお願いしたいと思っています。どんな些細なものでも、例えば日記帳や小遣い帳、あるいは作文集や手帖のようなものでも構いませんから、是非ともお貸し願いたいと思えます。

——最後になりますが、還暦を迎えるワカバ会に今後望むことがありましたらお願いします。
藤井…最初にお話ししましたように、記念誌委員会発足前の私は典型的な休眠会員でした。その私がある日突然目が覚めたように動きはじめたことは、われながら意外でした。僅か三年間、この三田高校で時間と空間を共有したただけなのに、こんなに強いきずながあったのかという気持ちです。しかし、今は皆さんと楽しく仕事をしています。私のような多数の休眠会員を、さまざまな企画を通じて呼び醒まし、ワカバ会のますますの発展を望みたいと思います。

——本日はお忙しいところ本当に有難うございました。



○記念誌委員会委員長の藤井さんのお話にもあったように、記念誌作成のための具体的な資料が不足しております。日記や小遣い帳、手帖、何でも結構です。お借り出来るようでしたら是非ともご連絡下さい。

○記念誌委員会・広報委員会では紙面を飾るカットを描いてくれる人、写真を撮ってくれる人を募集しています。プロアマを問いません。どしどしご応募下さい。

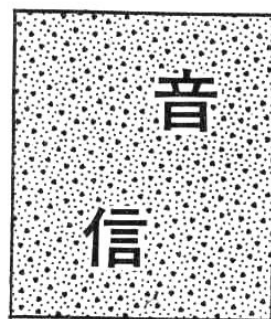
○アンケート用紙(クリーム色)を五月底までにお送り下さい。なお四月二十九日にお持ち下されれば幸いです。

○広報委員会では、紙面変更を機に新たな「わかば」のタイトルを募集します。形式は今回の紙面の横一段です、また内容に関しましては新企画を募集しています。会員の方々の斬新なアイデアをお待ちしています。

ちょっとした話

六十二年度の維持会費を納入された方に記念誌をさしあげます。是非とも維持会費の納入を。

※この欄の連絡は事務局へ
03-451-0227



シアトル便り

年末のシアトル

26-1 仲野(古川)小絵

いつの間にか街路樹も葉を落とし冬の足音が聞こえてきました。去年初めてシアトルについた頃は記録的な大雪にみまわれましたが今年は雨や曇りの比較のおだやかな日が続いております。

ここでは十月三十一日のハロウィーン(子供の変装祭り)が終るとサンクスギビングで、友人の家に招待されます。一般には七面鳥のローストとカボチャパイをかならずいただきますが、各家庭の習慣でさまざまなくふうが加えられそれが楽しみです。

その一ヶ月後がクリスマスですが、シアトルの人達はサンクスギビングの前にはもう準備の買物をすべてすませ、プレゼントの宛名書きも終わります。ドラッグストアでは色とりどりのリボン、豆電球、ろうそく、包装紙などが所狭

しとならべられます。私も子供の交換用をいれて二十ばかりもプレゼントを用意しました。プレゼントは、いただいたらツリーの下に積み重ねて、クリスマスの朝までひらかずに楽しみに待ちます。クリスマスツリーは待降節から

一斉にスーパーで売り出されます。去年はその一本を買いました。が切られてから時間がたっている上に家の中が乾燥しているので、いくら水の中においてもクリスマス前にはさわりと痛いほどに乾いて、葉がパラパラ落ちてしましました。それで今年は、車でここから一時間ほどのモンローヘツリーを切りに行きます。その場で自分の好きな木をえらび備えつけのおで自分で切って、車に積んで持ち帰るそうで、いかにも原始的でそれがまたアメリカ人のこだわりであるのかもしれない。

サンクスギビングが終ってクリスマスの前までに「サンタの朝食」という企画があります。小さな子



供のいる家庭が、クリスマスのきれいな飾りつけのあるレストランでキャロルを聞きながら朝食をとるのです。メニューはありふれたものですが、子供たちにとっては忘れられない楽しい思い出になります。

待降節からはいよいよ各家庭で越向をこらして、クリスマスへの期待をふくらませてゆきます。子供用の大きな白黒の印刷のクリスマスツリーに、丸や角の飾りを毎日一つずつ番号をあわせてはります。ツリーも飾りも自分できれいに色をぬっていった、二十四日が完成です。また四本のろうそくの立つろうそくを立てて、週一本ずつろうそくをふやして灯してゆき、二十五日にはそこから別の大きなろうそくに点火して、とても明るく灯します。キリストの誕生と共に世の中が明るくなったという、救世主の誕生を象徴しているのだそうです。

クリスマスチャンでない我が家では東京の祖父母の家の仏壇に毎日ごはんを供えていました。シアトルでは教会付属の幼稚園に通って、シアトルのいろいろな刺激をうけている息子をみてみると、子供たちの心の中にシアトルの習慣がどうとりいれられてゆくのかと、ふと考えたりもいたします。

砂原美智子さんの受章

昨年の秋の褒章受章で砂原美智子さん(137)が紫綬褒章を受章されました。

砂原さんは皆さんご存知の通り世界的なオペラ歌手として活躍され、また現在は昭和音楽大学主任教授として後輩の育成に力を注がれています。

在学中の思い出

校舎の移転

29-3 佐藤裕彦



間になった訳である。旧校舎には中庭に池があったり、現代の建築では望むべくもないゆとりとやすらぎの空間があったように思う。私達二年一組は、一教室だけボンと反対側の棟の一階に教室があり、窓からは例の池が一望に見渡せた。この池には、年を経たウナギのごときドジョウがいるとか、ヘビがいるとか、色々怪しい伝説があった。(事実、引越の時底をさらったが、大きめのドジョウが確かにいた。)そして夏になると手入れもせずに生き生きと育った木々からヤブ蚊の大量の来襲に見舞われたことなど今となつては笑い話の一つである。

新校舎に移ってからは、月火水木金日々清掃であった。特に体育のW先生などは、自ら日本学校清掃株式会社社長と名乗り、先頭に立って床を磨く機械を動かして校内美化に努めておられた。当時は、私達も放課後の掃除も実に入念にしたものである。その為かどうか、私は都議会に当選して最初の委員会は建設清掃委員会を無意識に希望してしまったのである。



同期会・クラス会

卒業五十周年を迎えて

九イ 藤林 利

(斉藤)

私共九回卒業生にとりまして、昨年は卒業五十周年に当たるといふことで、各組からのご要望がまことまり、五クラス合同で共に祝い、喜びを分かち合うことになりました。時は昭和六十一年三月二十七日、場所は国電お茶の水駅傍で便利な「しやぶ花」をお世話して頂くことができました。

当日は、ご健在の杉山、小此木、長浜の三先生をお囲みし、予想以上の六十名を越すご参加を得ました。

会は既に物故された方々のご冥福をお祈りしてから始まり、八十路を越えられた先生方が代る代る思い出話をご披露されるにつれ、戦前の良き時代と思って過したあの頃ですが、次第に厳しくなる世の中での苦勞の一端を垣間見て、今更のように温い愛情に包まれて育った幸せを噛みしめて、感謝を新たにしながら思い出話がはずみました。終りに、女学校時代の校歌を斉唱する頃には「乙女われら」の心にタイムスリップして

還暦を遙かに過ぎたお婆ちゃん達とも思えぬ若やいだ気分が盛り上りました。そして散会後も階下の喫茶室で三々五々名残を惜しんで話が尽きませんでした。皆様本当に有り難うございました。

なお、ご都合でご参加できなかった方のためにも当日のお元氣な先生方のお姿を紙面を通してお届けできることを嬉しく存じます。左から杉山・長浜・小比木の各先生



「高八回同期会」

8-2

安藤克男

昨年十一月二日、同期の山口謙一郎君が総支配人をつとめる池袋のホテルメトロポリタンにおいて、第八回卒業三十周年記念パーティーが行なわれました。いつものこと乍ら、山口君には諸事万端お世話になり、大変感謝しています。

当日は天気にも恵まれ、集まっ

た人達はロビーのあちこちで先生を取囲み、和やかな雰囲気の中で話していました。二時を少し廻った頃、海外出張の出發を夕方に控えて出席した山下輝雄君と、今回の企画を熱心に推進してくれた鳥居恭子さん(旧姓梅田)の司会でパーティーは始まりました。大角、大河原両先生は都合により欠席されましたが、お元氣な旨ご連絡頂きました。ご出席の高橋(登)、吉本、沼野、秋山、河上、の諸先生からは近況報告等ご挨拶を頂きましたが皆様大変お元氣な様子で何よりでした。

卒業当時三十八名でしたが、不幸にして亡くなった方、および住所不明の方を除き三一〇名の会員と連絡がつき、当日はそのうち一〇八名の会員が集まりました。卒業以来初めて会う人もいました。が、三十年間のタイムトンネルは簡単に通り抜けてしまいました。アルコールがあまりまわらないうちに、とクラス毎に担任の先生を囲んで記念撮影を行なった後は、料理をゆっくり味わうひまもない程思い出話や当時の愛唱歌などを楽しましました。スナック写真のフ

ラッシュがひとしきり終ったところで、皆で校歌を歌い、四時半過ぎ五年後の再会を約してひとまず散会しました。

人生のある時期を共通の場で持てた友とは、時と空間を超えてつながっていることを実感し、このような友を持てたことの喜びをつくづく感じさせるパーティーでした。



クラス会

十二ア

荒川賀世

十二回ア組は、昭和十四年の春に卒業して、四十八年過ぎました。在学中よりよくまとまったクラスでした。その為か戦争を通り越してきたのに、年二回のクラス会も二十名以上集ります。その中の秋の一回を大体一年おきに旅行をする事にして、その世話役をやらせて頂きました。始めは五十三年四



月に、中西先生墓参の一泊旅行です。クラスの中の現役の奥様方は一泊が限度で、交通費がもったいないと思いますが、沢山の方とにぎやかな方がよいと一泊の旅をしております。墓参旅行も中西先生の遺徳か二十七名も参加。この大成功に味をしめて、還暦旅行や、第六入学五十年等、名目を考えては下町の世話焼きは、クラスの皆さんの暖いお気持ちに支えられて、何回かの旅をすることが出来ました。ボケない中に面倒な旅をしておこうと、何時もオンブにダッコの交通公社のひいた路線の旅から少しは自分の考えも入れてと、仙台在住の亡くなった親友の妹さん松崎様ご夫妻に随分とお世話になりました。

六十一年九月二十九日の旅は、台風十七号と共に東北新幹線で北

上、半年ぶりのおしゃべりを解消するため秋保温泉へ、翌日はすっかり晴れ上り、何年ぶりの青葉城趾、台風之余波で大ゆれにゆれた松島湾の船、景色のよい眺めでの食事、楽しい行事でした。二十四名の方々と旅が出来るのは皆様が集まろうという暖かい気持ちがあるからです。

ホッとした帰りの座席で、この次は何処に行こうかなと考えるあたり、世話焼きです。

「奈良への旅」

十六ア 松井好（飯田）

卒業四十二年の昭和六十年は、「遅生まれ組」の還暦に当り、前年のクラス会で「奈良へ……」の話が持ち上がった。早速、当番が、各グループに打診、奈良でのクラス会、いや、奈良への時ならぬ修学旅行を実現させた。

新幹線から近鉄特急で西大寺へ。年二回テレビ放映される西大寺の大茶盛を私達だけでしていただき、秋篠寺へ。伎芸天のほほえみに見ほれてしばし棒立ち。平城宮跡を経て、春日奥山ドライブをし、三笠温泉ホテル泊。大浴場で旧交を温めながら交わす会話は、はずんでいた。

翌十七日は飛鳥路へ。飛鳥資料館、石舞台、高松塚古墳周辺を散

策、東京勢には、このそぞろ歩きが大変お気に召した様子、しきりにカメラに納めておられた。中食後、壺阪寺へ……。身の丈二十メートル、重さ千二百トンの天竺（印度）渡来の大観音石像を拝んで、橿原より西の京へ。唐招提寺薬師寺を参拝・散策して、一路奈良ホテルへ。特別室で会食団らん。ひとりひとりが、四十二年間の来し方を語り、感無量になったり、学びあったり。東京体育専門学校の副校長の飯田さんからは、「皆さんの歩き方は何ですか。第六時代の正常歩は、どうしたの？」と、一本やられて大笑い。女医さんからは、癌予防の提言もあり、みんなみんな友達思い……。

翌十八日は、午前中、自由行動、十一時三十分、奈良ホテル別館にてお昼の会食。

文化部系の夏合宿に参加して――

☆三田校生と共に☆

昨年の八月末、河口湖畔において恒例の文化部系の合宿が行われました。三泊四日の日程で、参加したクラブはブラスバンド部、室内楽部、フォークソング部、美術部、そして私がOGとして一緒に行かせてもらったコーラス部です。泊ったのは足和田ホテルという場

二泊三日、二十九名の奈良への旅は、クラスメイトがぐっと身近に、ぐっと親しみを増し、「人間みなきょうだい」の実感をかみしめた。卒四十年を余して、心から語りあえる友に恵まれていることは、実にすばらしく、幸せなことである。



東京府立第六高女16ア 還暦記念クラス会 5.60.19.16 奈良・三笠温泉にて

38-5 多田留美子

所で、眺めも良く、また私が二年前に行った時と比べ建物も新しく建増しされており、なかなか快適な所でした。それぞれのクラブはこのホテルの中の幾つかの大部屋と、湖畔を五分位歩いた所にある大・小ホールを使って毎日練習を行いました。時間配分は午前中三

時間、午後六時間で合計一日九時間と決まっております結構充実しているように思えるのですが、実際には日に日に疲れが溜っていき、九時間ずっと集中していることが難しくなってくるので、かえって時間が足りなくなってしまうほどです。

コーラス部の練習について少し書かせていただければ、人数が少なかつた割には皆がそれぞれ部長さんに協力しており、限られた時間を有意義に使っていたように思われます。合唱はやはり各パートの人数がある程度揃わないと曲が成り立たないので、今回の合宿では三年生をはじめ参加出来なかつた人がいたため、初めから人数のバランスがあまりよくありませんでした。しかし二年生がしっかりしていたのと、一年生も先輩の注意などをよく聞き、一人一人が曲を自分達のものにしようと努力していたこともあって、最終日までにはかなりすばらしいハーモニーを作りあげることが出来たと思います。

といます。後輩達にもこの合宿を良い思い出として、今後も練習に励んでもらいたいと願ってやみません。

六十一年夏の合宿にも多数の会員の方が補助指導員として参加して三田高生のお手伝いをした。その中で、公認コーチの方を紹介します。（敬称略）

- 。卓球・浅原昇(36-8)
- 。演劇・吉田由希子(38-3)
- 。水泳・加藤大(38-7)
- 。体操・前田一郎(35-5)
- 。女子バレーボール・

- 石田かおる(38-3)
- 。放送・入船剛(38-3)
- 。ワンダーフォーゲル・
- 。渥美晃一(36-7)

- 。サッカー・西沢貴晴(37-4)
- 。女子バスケットボール・
- 。宮島誠(37-6)

- 。男子バスケットボール・
- 星野貴司(37-4)
- 。男子バレーボール・
- 三輪英明(36-1)

- 。硬式テニス・嶺直利(35-3)
- 。バドミントン・植木信(37-8)
- 。アメリカンフットボール・
- 石井洋之(35-3)

- 。陸上競技・斉藤るり子(37-2)
- 。軟式テニス・渡辺恵(37-6)

※次頁へ

母校

だより

教職員方のご異動

☆ご栄転

尾勝宏先生 (数学科)

都立竹早高校

横田憲治先生 (理科)

都立駒場高校

立山香先生 (家庭科)

都立町田高校

中野圭司先生 (保健体育科)

都立豊島高校 (定)

長船良昭先生 (保健体育科)

都立墨田川高校堤分校

進士やす主査

都立竹早高校

伊藤悠二主事

都立墨田川高校堤分校

小野明主事

区立麹町小学校

里見征子主事

都立紅葉川高校

☆ご着任

坂井理先生 (保健体育科)

都立豊多摩高校

笠井純子先生 (理科)

都立杉並高校

吉見孝夫先生 (保健体育科)

都立日本橋高校

村井信彦先生 (国語科)

都立深川高校

羽野みき子先生 (家庭科)

都立町田高校

森薫先生 (数学科)

都立豊多摩高校

林靖久主査

都立駒場高校

谷沢サカエ主事

区立中野昭和小学校

油井功主事

都立駒込病院

吉川恒雄主事 都交通局

野田彦樹郎主事 都交通局

母校雑感

21-2

羽野みき子



三田高へ着任して一年がたとうとしています。初めての転勤で大きな不安がありました。が、母校という親近感を抱いて着任しました。

母校は当然の事ながら随分変化していました。校舎が建変えられ制服もあの懐かしいジャンパースカートの消えていました。あの型に

は思い出があります。修学旅行の京都で、後から中年の女性に呼び止められ、「東京の三田高の生徒さんでしょ?」後衿ぐりの大きなU字型に特徴がありました。又、肩のところが沢山のスナップで止められていて、満員電車でのスナップが音をたてて全部はずれて困った先輩がいた等という恐い話を聞いたりもしました。

変わらないものもあります。家庭科室の備品には、大切に使用されてきた古いものも多く、戸棚や衝立には大正時代のものがいくつもあります。先日、ルレットの木箱を教卓に置いていたら、「先生、このトゥレルって何ですか」と生徒。その蓋を見ると黒字で右から左へ字が書いてあり、大笑い。中には頑丈そうなルレットに「第六高女」と彫ってあり、約40本が健在です。生徒は「ヘエ」「スゴイ何年前?」と嬉しそうに使っていました。こんなきつかけがある

と、「先生も卒業生なんでしょ」

「〇〇さん (著名な方) も卒業生ですか」「〇〇先生に教わりましたか」「先生の頃には、長刀部なんてあったの?」(コラッ! 時代が違) 等々、話が弾んでしまうこともしばしば。伝統ある学校の重みを、こんな小さなところで、現代っ子もちょっぴり誇りに感じ

るようです。学校は三年たてばその生徒達はいなくなり、教師もこれからは長くて十二年ですから、三田高の今後の流れは今までより速いものになるのかも知れません。ここ暫く教師として、三田高の中から、その流れを見、微力ながら力を尽くしたと思っています。

海外帰国生徒学級

設置十年をむかえて

一九七七年四月に海外帰国生徒学級が設置されて入学した生徒が同窓生は加わるようになって十年になろうとしている。一九五六年以来ユネスコ国際理解教育協同学校であり、また、多数の海外留学生を出していた伝統をうけての設置である。卒業生も百名を越え、昨秋には海外帰国生徒学級の同窓会ともいべき集まりを企画した。すでに就職した先輩、大学生が一堂に集まり久し振りに和やかな会だったそうである。

今後、海外生活の経験を生かして、同窓生、三田高生とつながりを持ってくれたらと期待してやまない。

- 。剣道・大和田洋史 (36-6)
- 。ラグビー・福吉円 (36-5)
- 。吹奏楽・岩崎里美 (36-6)
- 。室内楽・室井美佐子 (36-2)
- 。フォークソング・
- 上田和寛 (37-5)
- 。コーラス・芳賀利子 (38-1)

謹んでご冥福を

お祈りいたします

- 氷上 貞子 (旧職員)
- 戸賀崎 理 (旧職員)
- 井上 静子 (伊藤)
- 枝広 文子 (井関)
- 海鋒 歌子 (田中)
- 高橋 三千子
- 仁田原妙子 (冬木)
- 神津江以子 (宮坂)
- 丸山 正子 (追川)
- 中島 敏子
- 岸上 章子 (南里)
- 村田 千代 (三浦)
- 田辺 信子 (海貝)
- 諸橋 和子 (中本)
- 鈴木テツ子
- 高橋 明子 (立川)
- 郷 敏子
- 山之内智恵子 (八亀)
- 鈴木 和子 (神山)
- 藤村 道子 (庄司)
- 川崎 道子 (業天)
- 飯島美登利 (萩原)

支 部 だ よ り (支部連絡先)

札幌	5エ	白居 和子	〒064	札幌市中央区南17条西12丁地	☎011-561-8810
東北	17ア	今岡 光子	〒980	仙台市木町通1-6-28-905	☎0222-262-1755
浦和	1C	宮田 りき	〒336	浦和市東仲町30-20	☎0488-82-3020
千葉	11オ	豊住 美枝	〒272	市川市中山4-7-12	☎0473-34-3032
湘南	7ア	永井喜代子	〒251	藤沢市鵠沼海岸2-8-26	☎0466-36-7706
静岡	18.4イ	田中 和子	〒420	静岡市5番町20	☎0542-52-8831
名古屋	4エ	小川 安子	〒464	名古屋市中区千種区棚町33-29	☎052-762-9347
関西	1C	辰馬 道	〒662	西宮市千歳町4-18	☎0798-33-0961
京都	1D	米田 道子	〒651	京都市右京区西院東淳和院町53	☎075-311-2480
福岡	2E	富田 保子	〒812	福岡市東区貝塚貝塚団地5-45	☎092-641-0381
大分	高4	工藤 延子	〒870-02	大分市政所473	☎0975-92-0480

母校を巣立ってから全国各地、世界へと同窓生の輪は広がりつつある。去年紹介した「東京、つくし野ワカバ会」とか、他にも同窓を縁として集まって活動をしている所は是非事務局までご一報を。さらに転勤転居なさった方は、最寄りの支部へご連絡下さい。はじめての土地でなにかとお役に立てると思います。なお、東北支部は暫定的に今岡さんをお願いしました。

だ 事 よ 務 り 所

◇会費納入のお願い◇

未納会費・維持会費の納入にご協力下さいまして有難うございます。

未納会費については、同封のご通知(氏名・金額記入)に基いて、出来るだけ早くご入金下さい。

維持会費についても昨年同様、よろしくご協力をお願い致します。

未納会費・維持会費、何れも同封の振替用紙をご利用下さい。

尚、62年度維持会費を納入の方には、来春出版予定の「ワカバ会創立60周年記念誌」を贈呈致します。

◇お願い◇

●ワカバ会の仕事(会報発送・名簿整理、「わかば」編集・六十周年記念事業委員会参加など)をご一緒にやって下さる方お電話下さい。

●氏名・住所・電話番号が変わった方はワカバ会にもご一報下さい。

移転されて一年を経過すると郵便物は返送されて来ます。新住所を追跡する手だてもないまま住所不明となってしまう。

返送される郵便物が毎年百七十通程あります。郵送料・労力共無駄になります。皆さんのお金です。でご協力下さい。

ちなみに今年転居をお知らせ下さった方は四百三十一名でした。早速訂正記入いたしました。

●六十周年記念誌委員会アンケート(クリーム色の用紙)を必ず送り返して下さい。同窓生の輪を広げ、つなげていきましょう。

ワカバ会事務所は母校六階にあります。

竹内和世さん(高五―四)は、月曜日から金曜日まで毎日、齋藤節子さん(高七―三)は、月曜日と水曜日、

他に中島紀子さん(高十一―七)佐藤芳子さん(高十九―二)が事務を執っています。

▼ワカバ会の事務

時間 午前十時半―午後四時
休日 土曜日・日曜日・祝祭日

▲ご連絡は

▼〒108港区三田一―四―四六
電話(〇三)四五―〇二二七
振替東京 八―八―一一七〇

また、松野靖子さん(高八―七)はPTAの事務を担当、石野恵美さん(高十三―五)は英語科、戸田雅子さん(高十九―一)は国語科、羽野みき子さん(高二十一―二)は家庭科の教員、南原久子さん(高十一―七)は英語科、御子柴大介さん(高二十六―四)は社会科、吉川栗さん(高九―三)は数学科の講師として母校に勤務しています。お近くにおいでの際は、お立ち寄り下さって、母校の最近の様子をごらん下さい。

編集後記

新しい体裁の会報いかがですか。はりきって編集に取りかかってみましたが、頭に浮かぶイメージと出来あがりの差に驚ろいたり、戸惑ったり。なんとか12頁が完了。是非ご批判、ご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

また伝統ある同窓会の宿命というべきか、読者層の幅の広さに、十八歳から七十五歳以上の年齢の差にたえられる記事が欲しいとつくづく感じました。次第です。

山荘トピックス

夏は軽井沢で！

—ワカバ会軽井沢山荘利用案内—

◆開荘期間 7月15日(金)～9月30日(金)

◆利用料金(1泊2食付)

大人……5000円

小人……4000円

幼児……2500円

8月1日(月)～8月31日(水) 特別料金期間

大人……5700円

☆貸切料金制度あり、(原則として土、日は不可)

内々で気楽にお楽しみになりたい方。

特別料金期間…25名以上又は14万円以上

他期間………20名以上又は10万円以上。

◆利用時間

チェックイン PM3:00

チェックアウト AM10:00

門限 PM11:00

申込方法

ワカバ会事務所 03-451-0227へ

電話して下さい。

5月2日(月)から

AM10:30 PM4:00 土、日、祝祭日

は休み。個人利用希望者、各種企画、参加者とも上の方法でお願いします。

なお10名以上の申込は常時受付

第五回

親睦ゴルフコンペ

恒例のワカバ会ゴルフコンペに是非一度参加なさって楽しさを味わって下さい。きっと常連となられる事受け合います。腕に自信の有無にかかわらず奮って参加を歓迎いたします。

日 時 7月23日(土)～24日(日)

場 所 軽井沢72ゴルフ・東コース

集 合 AM9:10 東コース
クラブハウスフロント前

スタート AM9:30(雨天決行)

プレー方式 ワンラウンドキャロ
ウェイ方式

定 員 6組24名(受付順)

参加費 35,000円(申込金5,000円)

第7回

野鳥と野草の会

「野鳥と野草の会」は、過去6年間、山荘の開募イベントとして定着いたしました。本年は紅葉と野の花を愛でる集いを企画いたしました。秋なので、野鳥の観察は出来ませんが、夏の喧騒の去った軽井沢の山荘周辺の静かな自然をおたのしみ下さい。東京よりマイクロバスでご案内いたします。個人で、グループで、多数ご参加下さい。

○日 時 9月26日(月)～27日(火)

○定 員 25名(定員になり次第締切り)

○参加費 17000円(申込金5000円)

○申 込 7月15日(金)まで

○要項は参加者全員に配布いたします。

第3回山荘セミナー

加藤恭二子先生を囲むつどい

去年好評だった、加藤先生を囲む集いを、今年も計画しています。先生は昭和37年から53年まで三田高校の音楽の先生として指導にあたられ、生徒の人望を集め、現在も声楽家として精力的にご活躍なさっております。

当日は先生のお歌を聴いたり、参加者の皆様にもご指導いただき皆でハーモニーを楽しんだり、内容も一段と充実したものと考えております。お誘い合せのうえご参加下さい。

日 時 7月中旬(総会の日に発表)

定 員 25人(定員になり次第締切り)

参加費 6000円(申込金5000円)

一日ヨガ教室

一日ヨガ教室に参加しませんか。此の夏、軽井沢山荘で健康維持の為に必要最低のヨガの基本を、元宝塚スター汐風享子(みちみ改め)さんが指導します。

デスクワークの方 運動不足の主婦の方等、沢山の申し込みをお待ちします。

日 時 7月24日(日)～25日(月)

定 員 25名(定員になり次第締切り)

参加費 6000円(申込金5000円)

アンス

